

食品製造業の売上DI

—平成21年12月—

【概要】

1 売上予測DI

食品製造業における平成22年3月の売上予測DI（先行き平成22年2月～4月の予測で中間月で示す。以下同じ）は、35.3（最低=0、最高=100で分岐点は50、以下同じ）で、前月に比べて▲2.6ポイントとやや低下した。

業種別にみると、畜産食料品が45.0で最も高く、次いで水産食料品が35.9、農産食料品が34.9、調理食品が34.5、コーヒー・茶系飲料が30.0となっている。

図1 総合「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

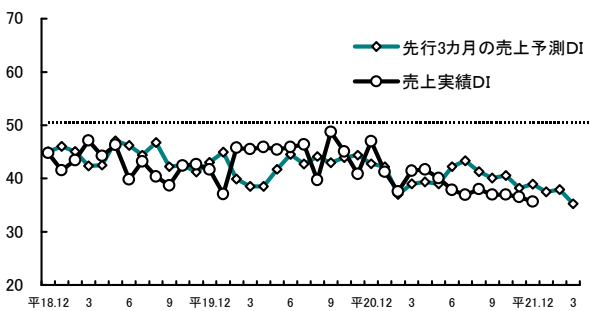


表1 先行3カ月の売上予測DI

	平22.1月	2月	3月	前月差
総合	37.5	37.9	35.3	▲ 2.6
畜産食料品	37.5	40.0	45.0	5.0
水産食料品	37.9	39.9	35.9	▲ 4.0
農産食料品	37.3	37.5	34.9	▲ 2.6
コーヒー・茶系飲料	30.0	30.0	30.0	0.0
調理食品	39.3	36.8	34.5	▲ 2.3

2 売上実績DI

食品製造業における平成21年12月の売上実績DIは35.6で、前月に比べて▲0.9ポイントになった。

業種別にみると、畜産食料品が45.0で最も高く、次いで水産食料品が42.9、農産食料品が32.4、調理食品が32.1、コーヒー・茶系飲料が30.0となっている。

図2 売上実績DI

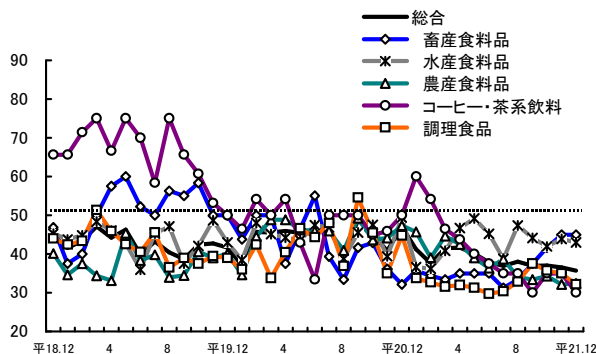


表2 売上実績DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	37.0	36.5	35.6	▲ 0.9
畜産食料品	41.7	45.0	45.0	0.0
水産食料品	41.9	43.9	42.9	▲ 1.0
農産食料品	34.3	32.1	32.4	0.3
コーヒー・茶系飲料	35.0	35.0	30.0	▲ 5.0
調理食品	35.7	35.0	32.1	▲ 2.9

3 製品販売価格DI

食品製造業における平成21年12月の製品販売価格DIは41.7で、前月に比べて▲0.7ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が50.0で最も高く、次いでコーヒー・茶系飲料が45.0、水産食料品が44.7、調理食品が44.0、農産食料品が38.5となっている。

図3 製品販売価格DI

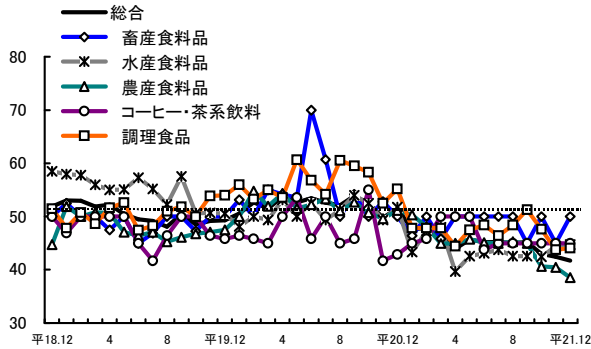


表3 製品販売価格DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	42.9	42.4	41.7	▲ 0.7
畜産食料品	50.0	45.0	50.0	5.0
水産食料品	42.4	44.4	44.7	0.3
農産食料品	40.7	40.5	38.5	▲ 2.0
コーヒー・茶系飲料	45.0	45.0	45.0	0.0
調理食品	47.6	43.8	44.0	0.2

4 原料価格予測DI

食品製造業における平成22年3月の原料価格予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年2月～4月の予測で中間月で示す。以下同じ）は48.6で、前月に比べて▲1.0ポイントとなっている。

業種別にみると、畜産食料品が55.0で最も高く、次いで調理食品が50.0、農産食料品が48.2、水産食料品が48.0、コーヒー・茶系飲料が45.0となっている。

図4 原料価格予測DI

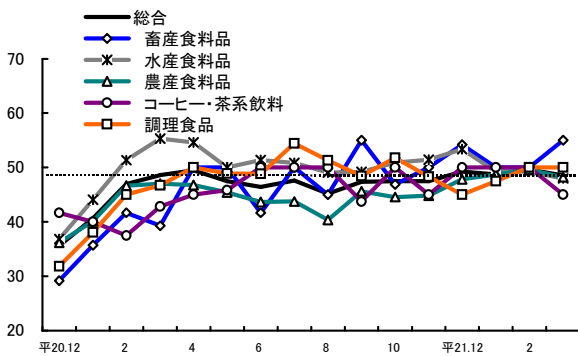


表4 原料価格予測DI

	平22.1月	2月	3月	前月差
総合	48.8	49.6	48.6	▲ 1.0
畜産食料品	50.0	50.0	55.0	5.0
水産食料品	49.2	49.3	48.0	▲ 1.3
農産食料品	48.7	49.6	48.2	▲ 1.4
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	45.0	▲ 5.0
調理食品	47.5	50.0	50.0	0.0

5 原料需給予測DI

食品製造業における平成22年3月の原料需給予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年2月～4月の予測で中間月で示す。以下同じ）は46.4で、前月比1.1ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0で最も高く、次いで調理食品が48.8、農産食料品が47.2、水産食料品が42.6となっている。

図5 原料需給予測DI

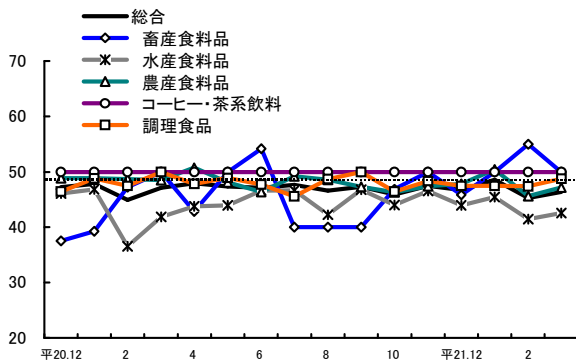


表5 原料需給予測DI

	平22.1月	2月	3月	前月差
総合	48.6	45.3	46.4	1.1
畜産食料品	50.0	55.0	50.0	▲ 5.0
水産食料品	45.5	41.4	42.6	1.2
農産食料品	50.4	45.6	47.2	1.6
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	47.5	47.4	48.8	1.4

6 在庫水準DI

食品製造業における平成21年12月の在庫水準DIは50.0で、前月比▲0.6ポイントとなった。

業種別にみると、コーヒー・茶系飲料が55.0で最も高く、次いで調理食品が53.6、農産食料品が51.4、水産食料品が45.3、畜産食料品が45.0となっている。

図6 在庫水準DI

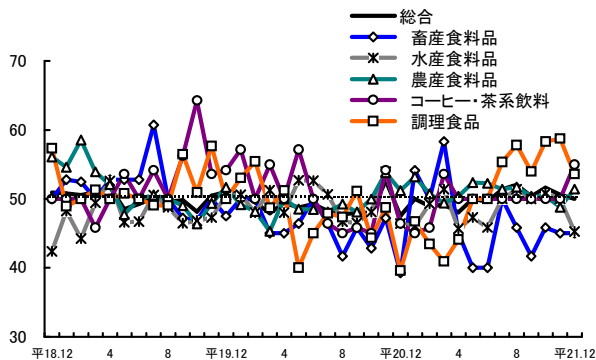


表6 在庫水準DI

	平21.10月	11月	12月	前月差
総合	51.6	50.6	50.0	▲ 0.6
畜産食料品	45.8	45.0	45.0	0.0
水産食料品	50.8	50.0	45.3	▲ 4.7
農産食料品	50.4	48.8	51.4	2.6
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	55.0	5.0
調理食品	58.3	58.8	53.6	▲ 5.2

【業種別の動向】

1 畜産食料品

畜産食料品の平成 22 年 3 月の売上予測 DI は 45.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇している。一方、平成 21 年 12 月の売上実績 DI は 45.0 で、前月とかわらない。

次に平成 21 年 12 月の製品販売価格 DI は 50.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇している。平成 22 年 3 月の原料価格予測 DI は 55.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇している。

図7 畜産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

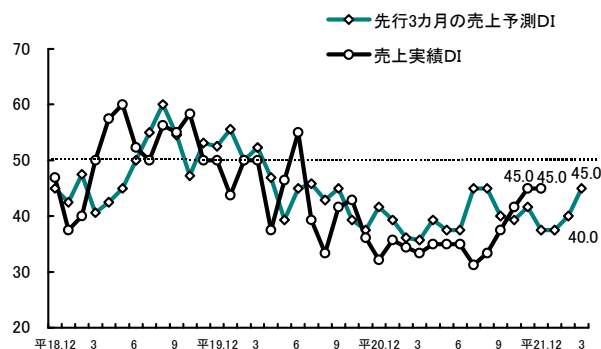
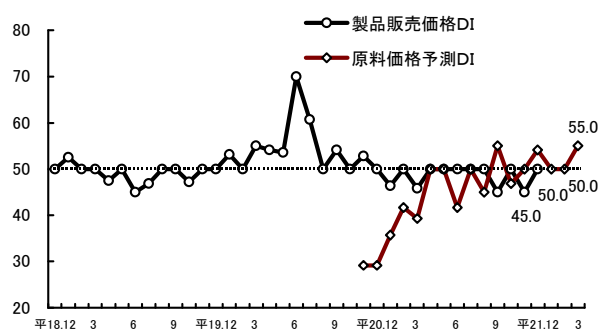


図8 畜産「製品販売価格DI、原料価格予測DI」



2 水産食料品

水産食料品の平成 22 年 3 月の売上予測 DI は 35.9 で、前月比▲4.0 ポイントとやや低下している。一方、平成 21 年 12 月の売上実績 DI は 42.9 で、前月比▲1.0 ポイントとなっている。

次に平成 21 年 12 月の製品販売価格 DI は 44.7 で、前月比 0.3 ポイントとなっている。平成 22 年 3 月の原料価格予測 DI は 48.0 と前月比▲1.3 ポイントとなっている。

図9 水産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

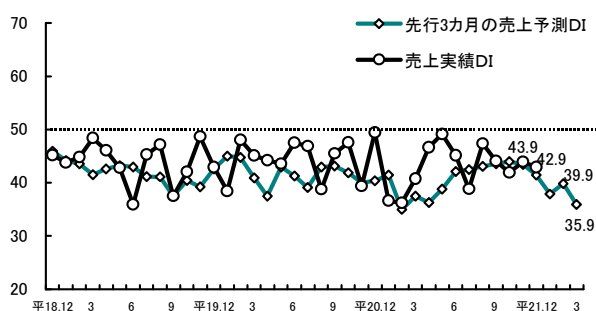
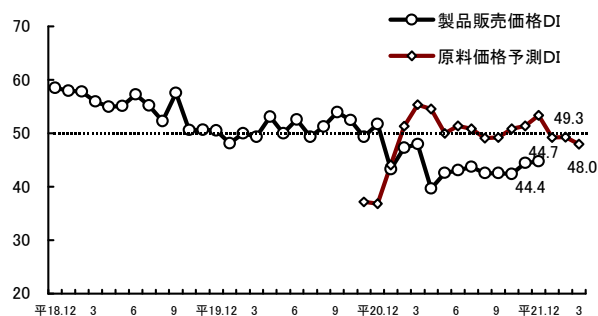


図10 水産「製品販売価格DI、原料価格予測DI」



3 農産食料品

農産食料品の平成 22 年 3 月の売上予測 DI は 34.9 で、前月比▲2.6 ポイントとやや低下している。一方、平成 21 年 12 月の売上実績 DI は 32.4 で、前月比 0.3 ポイントとなっている。

次に平成 21 年 12 月の製品販売価格 DI は 38.5 で、前月比▲2.0 ポイントとやや低下している。平成 22 年 3 月の原料価格予測 DI は 48.2 で前月比▲1.4 ポイントとなっている。

図11 農産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

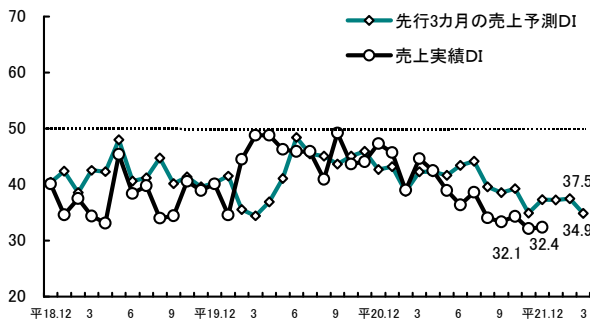
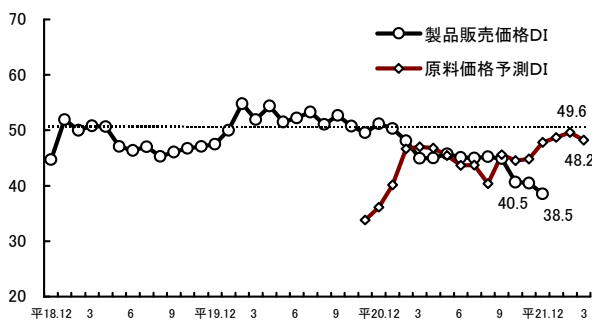


図12 農産「製品価格DI、原料価格予測DI」



4 コーヒー・茶系飲料

コーヒー・茶系飲料の平成22年3月の売上予測DIは30.0で、前月とかわらない。一方、平成21年12月の売上実績DIは30.0で前月比▲5.0ポイントと低下している。

次に平成21年12月の製品販売価格DIは45.0で、前月とかわらない。平成22年3月の原料価格予測DIは45.0で前月比▲5.0ポイントと低下している。

図13 コーヒー・茶系飲料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

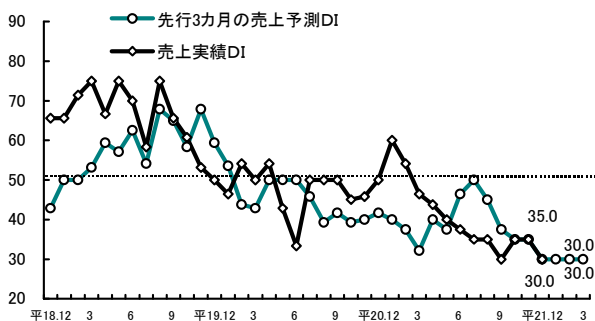
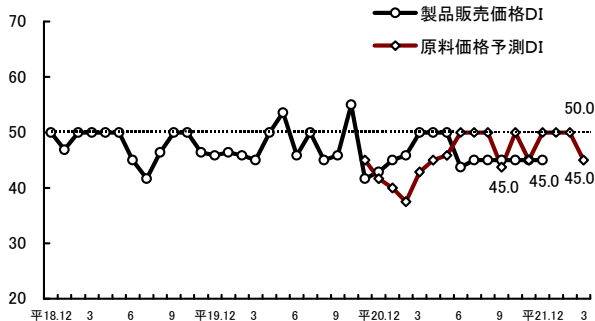


図14 コーヒー・茶系飲料「製品価格DI、原料価格予測DI」



5 調理食品

調理食品の平成22年3月の売上予測DIは34.5で、前月比▲2.3ポイントとやや低下している。一方、平成21年12月の売上実績DIは32.1で、前月比▲2.9ポイントとやや低下している。

次に平成22年12月の製品販売価格DIは44.0で、前月比0.2ポイントとなっている。平成22年3月の原料価格予測DIは50.0で前月とかわらない。

図15 調理食品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

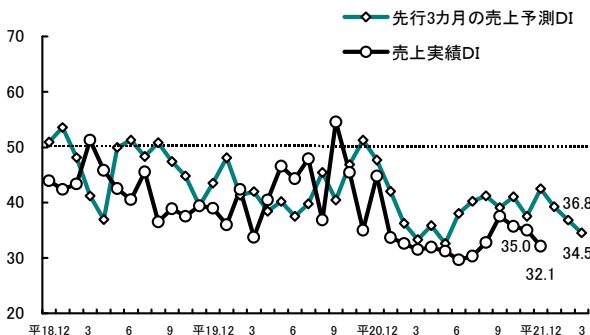
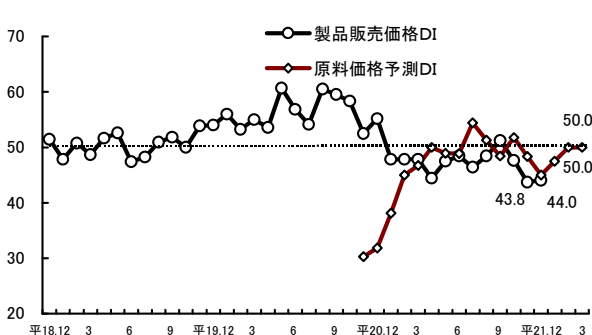


図16 調理食品 製品価格DI、原料価格予測DI



【 利用者のために 】

(1) 判断基準項目

- ・ 売上予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 売上実績 DI (当月の実績)
- ・ 製品販売価格 DI (当月の実績)
- ・ 原料価格予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 原料需給予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 在庫水準 DI (当月の実績)

※平成 20 年 6 月より調査開始。なお、従来調査していた原料価格 DI と原料需給 DI は取りやめた。

(2) DI の算出方法

- ① DI Diffusion Index の増減分岐点は 50%ラインが目安である。
(最高=100～最低=0)
- ② 指数は、回答の 5 段階選択肢「増加」、「やや増加」、「変わらない」、「やや減少」、「減少」(前年同期比)の構成比にそれぞれ+1、+0.75、+0.5、+0.25、+0 を乗じて算出。
注：原料価格予測 DI は、「上昇」、「やや上昇」、「変わらない」、「やや低下」、「低下」の構成比にそれぞれ+0、+0.25、+0.5、+0.75、+1 を乗じて算出。「やや低下」、「低下」の割合が高いほど指数が高く、製品販売価格 DI とは算出方法が異なる。
- ③ なお、DI の算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けを行っておらず、「1 社 1 票」の単純平均である。

<前月比の増減基準>

増加、上昇、良い、多め	: 5%以上
やや増加、やや上昇、やや良い、やや多め	: 2%以上～5%未満
かわらない	: ±0%以上～±2%未満
やや減少、やや低下、やや悪い、やや少なめ	: -2%以上～-5%未満
減少、低下、悪い、少なめ	: -5%以上

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

調査時点 平成 22 年 1 月

(4) 前月差については、ラウンドの関係で一致しないことがある。

本調査結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

農林水産省 [【http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html】](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html)

(社)食品需給研究センター [【http://www.fmric.or.jp/stat/index.html】](http://www.fmric.or.jp/stat/index.html)

発行日 平成22年2月5日発行

社団法人 食品需給研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

TEL : 03-5567-1991 FAX : 03-5567-1960

<http://www.fmric.or.jp>
